



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社fonfun

上場取引所 東

コード番号 2323 URL <https://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水口 翼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長 (氏名) 八田 修三

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	172		9		8		51	
2023年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	15.40	
2023年3月期第1四半期		

当社は2023年4月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社FunFusionを吸収合併したことにより連結子会社が存在なくなり、非連結決算会社となっております。このため、2023年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年3月期第1四半期	1,008		601		59.6	
2023年3月期	939		550		58.6	

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 601百万円 2023年3月期 550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	817	28.0	87	101.8	85	100.0	84	109.8	25.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	3,380,920 株	2023年3月期	3,380,920 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	45,461 株	2023年3月期	45,231 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	3,335,544 株	2023年3月期1Q	3,335,738 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(持分法損益等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う行動様式の変容など各種政策の効果もあり、景気を持ち直しの傾向があるものの、為替変動などの影響による物価上昇が見られ、今後の影響が懸念されています。世界的にもWHOが新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言を終了し経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、金融引き締めやウクライナ情勢の長期化などに伴う食糧・資源・エネルギー価格の上昇、依然として継続する半導体や各種部材不足の影響などにより、その先行きは不透明な状況となっております。

こうした市場環境のなか、当社を取り巻く環境に関しては、スマートフォンの契約数は微増の状況が続いております。2023年3月末における携帯電話の契約数は2億1,084万件(前年同期比1.5%増 総務省発表資料による)であり、大幅な契約数増加が見込めないなか、総務省主導による政策の影響もあり、携帯電話端末の価格と通信料のバランスが変化してきています。主要通信キャリア以外の仮想移動体通信事業者(MVNO)の存在感も増し、一契約あたりの売上高(ARPU)は微減を続け、コンテンツビジネスにも影響を及ぼしております。主要携帯通信キャリアが主導してきたビジネスモデルは、今後も大きく変化していくことが予想されます。

SMSサービスにおいては、SMS配信サービスの認知度が向上し、SNSやスマートフォンアプリの利用時などの本人認証通知、公共料金・税金など督促の通知、飲食業界のノー・ショウ(飲食店における無断キャンセル)対策としての予約確認など企業と個人の間でのコミュニケーション手段として高い到達率と開封率というSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、市場規模は急速な広がりを見せております。2026年度にはSMSの配信数は14,077百万通にも及ぶという調査結果(「ミックITレポート 2022年10月号」(ミック経済研究所))があり、SMS市場は、今後も高い成長を続けていくものと予測されております。

このような状況の中、当社は、「お客様の喜ぶことを皆と分かち合い、ともに喜ぶ」を経営理念として掲げ、お客様の生活をより豊かに便利にするツールを提供できるよう当社の既存事業の収益を維持しつつ、新たなサービスの企画・提供を実施してまいりました。

【当第1四半期累計期間の実績】

以上の方針のもと、当第1四半期累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

なお、当第1四半期累計期間より、非連結決算に移行したことに伴い、四半期連結財務諸表を作成しておりません。前年同期数字は、連結財務諸表を作成しておりましたので、参考情報として連結累計期間数字と比較して記載しております。

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期		
売上高	136百万円	172百万円	35百万円	26.0%
営業利益	1百万円	9百万円	7百万円	442.7%
経常利益	1百万円	8百万円	7百万円	442.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (※)	1百万円	51百万円	50百万円	—

※2024年3月期第1四半期累計期間については四半期純利益を表示しています。

売上高は、前年同期比26.0%増の172百万円となりました。営業利益は、売上高の増収により前年同期比442.7%増の9百万円となりました。また、経常利益は、非連結決算への移行に伴い持分法による投資利益が除外されましたが、442.6%増の8百万円となりました。四半期純利益は、子会社吸収合併による抱合せ株式消滅差益42百万円の計上により51百万円となりました。

当社の各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
SMS事業	60百万円	78百万円	18百万円	30.3%
リモートメール事業	44百万円	40百万円	△3百万円	△8.8%
ボイスメール事業	21百万円	18百万円	△2百万円	△10.8%
受託開発ソフトウェア事業	3百万円	27百万円	24百万円	648.2%
その他	7百万円	6百万円	△0百万円	△8.4%
合計	136百万円	172百万円	35百万円	26.0%

(セグメント別営業利益又は損失△)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
SMS事業	23百万円	9百万円	△13百万円	△58.2%
リモートメール事業	22百万円	16百万円	△6百万円	△28.3%
ボイスメール事業	5百万円	4百万円	△1百万円	△22.2%
受託開発ソフトウェア事業	△1百万円	12百万円	14百万円	—
その他	△0百万円	0百万円	0百万円	—
調整額	48百万円	34百万円	△13百万円	△29.0%
合計	1百万円	9百万円	8百万円	442.7%

※調整額とは、セグメント間取引消去額および全社費用(セグメントに帰属しない一般管理等)をいいます。

① SMS事業

SMS事業はショートメッセージを利用した通知サービスであり、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバーAPI」、「らくらくナンバー」と3つのサービスがあります。当第1四半期累計期間において、導入企業と同業種への事例紹介や、既存のお客様からのご紹介により、新規獲得件数が伸長したこと等から、売上高は前年同期比30.3%増収の78百万円となりました。セグメント利益は、売上原価、営業費用の増加により、58.2%減収の9百万円となりました。

② リモートメール事業

当四半期累計期間において、「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長市場であるスマートフォン市場での拡販に継続して努めておりますが、サービス解約による利用者数の減少の影響もあり、売上高は前年同期比8.8%減収の40百万円となりました。また、セグメント利益も、売上高の減収により、前年同期比28.3%減の16百万円となりました。

③ ボイスメール事業

ボイスメール事業は、2019年12月に譲受けた事業であり、スマートフォンアプリを利用して音声情報をメールのようにやり取りできる法人向けのサービスであります。売上高は前年同期比10.8%減収の18百万円となりました。また、セグメント利益も、売上高の減収により、前年同期比22.2%減の4百万円となりました。

④ 受託開発ソフトウェア事業

受託開発ソフトウェア事業は、システム開発、保守業務によるものであります。

受託開発ソフトウェア事業の売上高は前年同期比648.2%増収の27百万円となりました。セグメント利益は、前年同期セグメント損失△0百万円に対し、12百万円となりました。

⑤ その他

その他の売上は、主に、インターネット接続の提供及びウェブサイト構築に用いるサーバのレンタルサービスであります。

売上高は前年同期比8.4%減収の6百万円、セグメント利益0百万円(前年同期セグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期累計期間末における総資産は1,008百万円となり、前事業年度末に比べ、69百万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の増加24百万円、関係会社株式の減少19百万円、のれんの減少10百万円等であります。

負債の部は407百万円となり、前事業年度末に比べ18百万円増加しております。主な要因は、買掛金の増加5百万円、前受金の増加12百万円、長期借入金の減少9百万円、短期借入金の減少5百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少5百万円等であります。

純資産は601百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円の増加となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に発表しました業績見通しに変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	533,214	605,928
売掛金	64,718	89,547
仕掛品	2,600	—
短期貸付金	128	128
その他	29,445	30,112
貸倒引当金	△416	△800
流動資産合計	629,690	724,916
固定資産		
有形固定資産	5,297	4,800
無形固定資産		
のれん	248,712	238,145
商標権	943	1,498
ソフトウェア	—	3,864
無形固定資産合計	249,656	243,508
投資その他の資産		
関係会社株式	35,879	16,100
長期未収入金	775,626	775,296
その他	18,858	19,408
貸倒引当金	△775,626	△775,296
投資その他の資産合計	54,737	35,508
固定資産合計	309,690	283,816
資産合計	939,381	1,008,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,527	18,421
短期借入金	88,328	83,324
1年内返済予定の長期借入金	105,721	100,186
未払法人税等	290	72
賞与引当金	2,295	—
未払金	8,718	15,357
その他	16,178	43,757
流動負債合計	234,059	261,118
固定負債		
長期借入金	133,395	123,998
退職給付引当金	21,896	22,266
固定負債合計	155,291	146,264
負債合計	389,351	407,383

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	607,299	607,299
利益剰余金	17,503	68,870
自己株式	△174,773	△174,820
株主資本合計	550,029	601,350
純資産合計	550,029	601,350
負債純資産合計	939,381	1,008,733

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	172,339
売上原価	63,309
売上総利益	109,029
販売費及び一般管理費	99,401
営業利益	9,628
営業外収益	
受取利息及び配当金	10
貸倒引当金戻入額	330
その他	32
営業外収益合計	372
営業外費用	
支払利息	1,171
その他	162
営業外費用合計	1,333
経常利益	8,667
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	42,771
特別利益合計	42,771
税引前四半期純利益	51,439
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等合計	72
四半期純利益	51,366

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
関連会社に対する投資の金額	16,100千円
持分法を適用した場合の投資の金額	16,422 "
	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額	△163千円